

# あみ 議会だより

平成23年第2回定例会 …	2ページ
10議員が一般質問 ……	4ページ
各常任委員会報告 ……	15ページ

第129号

平成23年7月22日発行

茨城県阿見町議会

E-mail: [gikaijimukyoku-ofc@town.ami.lg.jp](mailto:gikaijimukyoku-ofc@town.ami.lg.jp)  
URL: [http://www.town.amiibaraki.jp/gikai/assembly\\_index.htm](http://www.town.amiibaraki.jp/gikai/assembly_index.htm)

じゃがいも掘り体験をする阿見ひかり保育園の子どもたち

## 第2回 定例会

平成23年第2回定例会が、6月14日から6月24日まで11日間の日程で開かれました。初日には町長から平成23年度一般会計補正予算など議案15件が提出され、付託案件については、後日各常任委員会で慎重審議を行いました。

一般質問では10名の議員が登壇し、活発に町政を質しました。最終日には、すべての議案を可決、承認しました。

なお、第2回定例会審議結果一覧については、阿見町議会ホームページをご覧ください。

# 平成23年度一般会計補正予算可決 1億5千610万8千円増額

今回の一般会計補正予算は、現予算額に1億5千610万8千円を追加し、歳入歳出それぞれ136億9千221万9千円となりました。

歳入の主なものは、国庫支出金で、がん検診推進事業の財源としてがん検診推進事業費補助金を、町道等の災害復旧事業の財源として都市災害復旧事業費補助金を新規計上。県支出金で、道の駅交通量調査の財源として

緊急雇用創出事業補助金を新規計上。肝炎ウイルス検査推進事業の財源として健康増進事業費補助金を増額。町債で、災害復旧事業債を新規計上。

歳入の主なものは、人事異動等に伴う職員給与関係経費の増減が主なもので、その他、総務費で、企画費で、道の駅交通量調査委託料を新規計上。民生費で、保育所費で、民間保育所を誘致するための土地購入費等を

新規計上。衛生費で、健康増進費で、肝炎ウイルス検査及び大腸がん検診推進のための経費を増額。土木費で、街路事業費で、福田工業団地線整備事業を実施するための経費を新規計上。

教育費で、学校給食費で、給食センター整備事業を実施するための経費を新規計上。災害復旧費で、土木施設災害復旧費で、震災で損壊した道路等の復旧工事費を新規計上。



第2回定例会の審議の様子（6月14日）

### 6月補正予算の結果

会計名	補正後の予算額	補正額
一般会計	136億9,221万9千円	1億5,610万8千円
特別会計	国民健康保険	49億8,827万5千円 627万5千円
	公共下水道事業	15億4,456万4千円 3,756万4千円
	土地地区画整理事業	4億1,898万4千円 ▲ 1万6千円
	農業集落排水事業	1億4,922万3千円 ▲ 177万7千円
	介護保険	21億4,943万5千円 143万5千円
	後期高齢者医療	6億3,607万3千円 807万3千円
企業	水道事業	17億2,782万6千円 9,132万6千円
総額	253億659万9千円	2億9,898万8千円

# 6月定例会 質問&答弁

参入し、10社以上を  
考えています。

## ◆平成23年度阿見町一般 会計補正予算(第1号)

### 討論

#### 賛成討論(細田)

の違いにより、消費電力の差はどのくらいあるのか。また、PFIと公設民営でどちらが地元の業者が参入して携わるこ  
とが出来るのか。

**問** 阿見町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正で、今回の東日本大震災により、著しい被害を受けたものとなっておりますが、阿見町では、どういう方がこの条例に該当しますか。

**答** この弔慰金の支給に該当する被害は、家屋で半壊以上です。5月末現在で12棟が該当しています。

**問** 平成23年度阿見町一般会計補正予算の中の給食センター整備事業で、新しい給食センターと現在の給食センターで設備

に、町長の独断専行はあつてはならない。既に3千万近くの調査委託料を支払っている等の理由でもっと議論が必要だと思えます。

#### 賛成討論(紙井)

▼今回否決になった場合、学校給食センター建替え工事が大幅に遅れてしまう。また、利益を追求するより安全・安心を第一とする学校給食事業に関し、PFI事業は、そぐわない。一日も早く進めていただきたいと考えます。

▼今度の震災で被害を受け、通行止めになっている道路の災害復旧費が計上されています。早急に復旧すべきです。新給食センターの設計で、公設に変更して、子どもたちの食の安全、地元の農産物を取り入れる、米飯給食を増やすということは、良いことなので賛成します。

#### 答

現在の給食センターは、電気・重油・プロパンガスを利用しており、合計で1千465万7千円です。新給食センターは、太陽光発電やオール電化システム、LED照明等の採用を検討してまいります。PFIは、数社程度しか見込めなかつたが、公設民営は、分離分割発注なので、地元業者も

#### 反対討論(藤井)

▼新学校給食センターの建設方式をなぜ急に変更したのか。行政の継続性について、前町長時代に3年かけて研究し、この方法が一番いいと言ってきたの

るのか。一日も早く建設してあげないといけない。

### 採決

賛成多数により可決  
されました。

#### 賛成議員(11名)

細田 正 幸  
諏訪原 実  
大野 孝 志  
倉持 松 雄  
柴原 成一  
石井 早 苗  
久保谷 充  
紙井 和 美  
難波 千香子  
川畑 秀 慈  
平岡 博

#### 反対議員(6名)

榎田 豊  
小松沢 秀 幸  
吉田 憲 市  
久保谷 実  
藤井 孝 幸  
浅野 栄 子

※佐藤幸明議員は、議長職のため表決権はありません。

## お知らせ

このたびの東日本大震災で被災した岩手県・宮城県・福島県・茨城県内の災害救助法が適用された被災町村に対し、全国町村議会議長会より義捐金30万円が届けられました。また、茨城県町村議会議長会からも5万2千222円の義捐金が届けられました。今後の復旧・復興に役立てたいと考えております。

## ■おわびと訂正

前号「政治倫理審査会委員決まる」の内容について、以下の誤りがありました。おわびして訂正いたします。

戸ノ岡 益 雄 氏  
川村 清 氏  
昭和21年10月12日生  
黒田 松 壽 氏  
昭和22年1月1日生  
塚口 恭 一 氏  
昭和15年12月15日生

# 一般質問

## ◎平成23年第2回定例会

### 質問者

1. 藤井孝幸 議員
2. 平岡博 議員
3. 細田正幸 議員
4. 石井早苗 議員
5. 柴原成一 議員
6. 浅野栄子 議員
7. 難波千香子 議員
8. 紙井和美 議員
9. 川畑秀慈 議員
10. 久保谷充 議員

# 10人の議員が町政を問う



質問者席（阿見町議会議場）

一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、町長の考え方や町政の執行状況について事実の説明を求めたり、所見を問いたですものです。

# 町防災・大丈夫か？



藤井 孝幸 議員

**藤井** 全く大丈夫ではない。

12年ぶりに見直した現計画を検証することなく今回の震災を迎えた。大災害に対する、現在の町防災体制について提案と質問をいたします。

**提案3** 防災担当課（町民活動推進課）は現行で良いか。

平素、人・物・金を掌握している総務部に置くべき。

**藤井** 現防災計画の最大の欠点は、必要な装備品等の整備計画が無い。必要では？

**生活産業部長** 必要、3ヶ年計画を作成し整備する。

**藤井** 町民に危機の伝達手段は広範囲では不十分、区ごとに防災無線を設置する必要があると思うが、どうか。

**提案2** 対策本部の設置場所は現行で良いか。役場駐車場に天幕展帳し対処すべき。庁舎停電・倒壊を想定して。

**生活産業部長** 3年計画あり。本年基本計画を作成し、今月中に発注する。

**藤井** 災害時要援護者を救出する為の要援護者名簿を作成する必要はないか。何故出来ないのか。総務省「災害時要援護者の避難支援ガイドライン」では行政が住基台帳を基に名簿を作成し、民生委員・区長・消防団に協力を求めて個別計画を作成するところがあるが。

**社会福祉課長** 名簿の作成は大変遅れて申し訳ない。今後の予定は7月に関係各課と打ち合わせ、8月に民

**藤井** 現行の防災訓練は実践的ではない。地区ごとに凶上訓練を実施する必要があるか。

**生活産業部長** 必要ある。

生委員等に説明し、10月には作成予定。来年5月にずれこむ可能性あり。

**藤井** 現計画に原発事故対処の記載はない。追加すべきではないか。

**生活産業部長** 県の計画と整合をはかり計画に入れる。

**提案4** 今夏町節電対策に「職員の休暇取得を強力に推進する」とある。とんでもない。そんな暇があれば被災地へ支援に行くべきだ。

※現町防災体制は極めて不十分。危機管理意識薄い。猛省を促す。



武器学校隊員の給水支援

# 震災の復興支援と放射線対策は どうなっているのか

天田町長／国や県、他自治体の動向を踏  
まえて検討

**平岡** 東日本大震災の復興支援は、被災者支援で定住型の受け入れ先として阿見町が名乗りをあげられないか。

再建や雇用の確保など、失われた生活基盤の回復に向けて、復興の指針策定を行っている所であります。

**町長** まず当町にお  
きましては5月

末まで、福祉センターまほろばにおいて避難所を開設しておりますが、避難世帯2世帯の了解を得て、今月より町で借上げた民間住宅に入居していただいたところであります。

被災者の方々のふるさとへの思いが強いから被災地主体の復興を基本とした計画策定を進めている所でありま  
す。町単独での定住型生活再建プログラムの作成につきましては、被災者のニーズや意向等を見極めながら、国や県、他自治体の動向も踏まえて検討されるべきものと考えております。

現在、国では、こうした避難者の方々が、一刻も早く安定した生活を確保することが出来るよう「復興機構会議」を設置し、住居の



平岡 博 議員



県の委託を受け役場の駐車場にて放射線量を測定している放射線測定装置搭載自動車



第2週・第4週に阿見町で町内施設の放射線量を測定している様子(阿見小学校校庭)

**平岡** 放射線被害への対策として、地域レベルでのきめ細かい情報の収集と体制構築を求めるものです。

**町長** 当町自体の取組では、これまで

大気中の放射線の影響については、県、国関連の研究所及び県立医療大学の公表データを参考にまいりましたが、5月23日に県から大気中の放射線を測定する機器が配布されたことにより、地域レベルのきめ細かい情報収集として5月25日から6月2日にかけて保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校、主な公園の測定を行ったところがあります。測定結果を5月30日から町ホームページに掲載し6月10日には回覧にて町民に情報提供を行った所でもあります。町としては、今後とも国・県・大学・研究所等との連携協力による測定・監視体制を維持し地域レベルでのきめ細かい情報収集と情報提供を推進してまいります。

# 震災被害者に住宅リフォーム 助成制度の創設を

天田町長／現在のところ助成制度を実施する予定はありません

**細田** 東日本大震災から3ヶ月が経過

しました。復興については、いまだ放射能の被害もあり、遅々として進んでおりません。茨城県内でも、震災の支援について、具体的に支援を行う自治体が出て来ました。常陸太田市・日立市・高萩市等が独自に震災被害支援制度を創設し、住宅・物置・外構等に20万円から10万円の助成を行う制度を実施しております。阿見町でも支援制度を創設し、2千件以上ある一部損壊家屋の復旧を支援し、町民の困難を少しでも軽減したらどうか。

財源については、霞



細田 正幸 議員

クリーンセンターの適合約金3億円。町の財政調整資金19億円の10%1億9千万円を活用すればすぐにでも出来る支援方法だと思います。阿見町の歴史始まって以来の震災被害です。この様な時に行政が何もやらないのであれば、自治体は、何の為にあるのが問われると思います。町長が判断して実行すべきだと思いますがどうか。

**町長**

現在、県内では県北地域の4自治体がこの制度を実施している状況です。近隣では土浦市が創設に向けて準備を行って

# 放射能被害から 子どもたちを守るために、 学校・公園の土壌調査を

天田町長／今後、国等の指示・方針に従い対策を立てていきます

**細田**

福島東電原発爆発事故により、阿見町にも多量の放射能が降り注いだと予想されます。土壌中の放射能はそのまま蓄積されていると言われております。阿見町に於ける土壌中の放射能汚染は調査しているのか。子どもたちの健康を将来に渡って守るためにも、きちんと調査し、対策を立てるべきではないのか。

**町長**

町では、現在、校庭などの土壌中の放射能濃度の調査は行っておりませんが、文部科学省が100キロ圏内の土壌調査を実施する予定です。現在のところ、国からの測定方法、及び安全基準が示されておりませんので、今後、国等の指示・方針に従い対策を立てていきたいと考えております。



霞ヶ浦平和記念公園

# 「ふれあい電話訪問」用 電話増設について

天田町長／今後利用者の意見や要望をふまえて調査検討したい

**石井** 町の65才以上

の独居高齢者数は400人を超すと推定される。次世代同居

でも同居と変わらぬ日常を送っている人も加

えるとその数は膨大だ。民生委員が荷って

いる安否確認対応も、

個人情報保護法の厚い

壁や高齢者自身の自尊心により、必ずしも的確

動向を掴めない。町

社会福祉協議会事業の

1つ、「ふれあい電話

訪問」は高齢者の孤独

感解消、安否確認、必要な相談、助言情報等

を果たせない。

1台増設できないのか。

**町長**

この事業は町

の委託事業で在宅の

単身高齢者に、研修

を受けた10名の電話

訪問員が火曜日と木曜

日の午後1時30分から

4時まで、1日に10人

から15人の方に電話訪

問している。

H22年度は3月の震

災で回数が減ったが、

年間90日、1千139

件の電話訪問を行っ

た。この事業への登録

は民生委員、児童委員

を通して申請方式で現在



石井 早苗 議員

月2回の昼食配達サービスが66名、愛の定期便を92名がこれらのサービスを重複して受けているので、今後利用者の意見や要望をふまえて調査検討していきたい。

**石井**

私の試算では

電話を1台増設

する費用は2万5千円

位で、年間費用は17万

2千600円程度だ。

増設する意欲があるかないか担当課に伺いたい。

**町長**

携帯電話もあ

るのでそれらを

含めて総合的に考え前

向きに検討したい。

**石井**

申請書を公民館等に置けない

**町長**

公民館に置く

ことは可能と思

われるので検討する。

**石井**

老々介護がふ

えてくる。介護

者の心のケアにまで事

業を広げられないか。

**町長**

介護者につい

ては包括支援セ

ンターか心配ごと相談

にと事業を整理してい



阿見町社会福祉協議会  
ふれあい電話訪問

<お問い合わせ>

社会福祉法人 阿見町社会福祉協議会

〒300-0331 茨城県稲敷郡阿見町阿見4671-1 阿見町総合保健福祉会館(さわやかセンター)内

電話 029-887-0084 FAX 029-887-9934 地域福祉係 担当 酒井・稲葉

ふれあい電話のご案内

# 新給食センター

## 整備事業について

天田町長／公設民営で整備する



柴原 成一 議員

**柴原**

PFI事業の中止から見直し結論に至る間の町民に対する説明が極めて不親切である。全員協議会では、米飯調理施設整備の追加を見直しの理由としているが、PFIでは、「ノー」で、公設民営なら「オーケー」とする理由の合理的説明がない。この一年間の議論の経過を町民（特に保護者）にもわかるように説明して欲しい。



給食センター南側



取得済みの新給食センター用地

**町長**

PFI方式の採用を決定した時点では行革推進の流れの中で経済性が最優先され、PFI方式のデメリットが過少評価されていました。PFI方式では、建設から運営まで全体を一括で

契約することとなりますので、契約期間が17年という長期に及ぶ契約となります。長期契約は癒着やなれ合いの懸念があり、好ましいものではないと考えます。

また、PFI方式でなければ、建設段階で分離発注を採用し多くの受注機会が生みだせますし、地元の業者も参入しやすくなります。

運営段階でも、PFIでなければ3～5年程度の期間で委託契約を見直すこともできますので、将来の変化や新たな町民ニーズにも柔軟に対応することができます。

新学校給食センターの建替を早急に進め、平成25年9月には新しい給食センターで調理した給食を子どもたちが食べられるよう事業を進めていきたい。

# 国際友好都市交流について

天田町長／友好都市との交流事業は、異文化理解多文化共生社会の実現等のため、両市町間での相互派遣事業を軸に継続していく



浅野 栄子 議員

## 浅野

今や国際化時代。阿見町でも、アメリカのスーパーア市と中国の柳州市の二都市と友好都市交流をしています。中学生と民間の訪問団を親善大使として毎年派遣していますが、この国際交流の意義と役割りについてのお考えをお聞かせください。

## 浅野

来、多いに貢献していると考えています。また、阿見町の国際交流についての理解、認知度が低いと思われませんが如何ですか。

## 総務部長

まだ、町民に幅広く理解は頂いてない所もありますので、理解を深めて頂くよう、揭示場所の拡大や広報などでPRしていきたいと思えます。

## 浅野

中学生の派遣についてと、自己負担はどの位かかるのですか。

## 教育次長

中学生 2 年 生 各 学 校 4 名 づ つ、12 名 の 希 望 を と り 参 加 し、費 用 は 8 泊 10 日 で 35 万 2 千 円。その 2 分 の 1 を 補 助 し ま す の で、個 人 は 17 万 6 千 円、自 費 負 担 と な り ま す。

## 浅野

経済的負担で夢を摘んでしまわないのではありませんか。

## 町長

やはり、つらい時はつらい思いは必要。又、受益者負担という事もあり、そこは基準を設けなければならぬと思います。

## 要望

将来3分の2の補助ができるよう要望いたします。



広大なひたち野みずべ公園で遊ぶ子どもたち

# 子どもが思いっきり遊べる場が必要ではないか

天田町長／子どもの笑顔があふれる居場所空間や機会の提供を積極的に推進します

## 浅野

昔、子どもは自然の中で、思いつきり体を動かし遊びました。現在、親子・友達とキャッチボール、鬼ごっこなど気軽に走り回り遊べる広場がありません。元氣よく体を動かさし心地よい汗を流す場の提供についてのお考えは。

## 町長

多様なスポーツレクリエーションニーズに応える為、町の未利用地等を活用して、多目的なスポーツ施設の整備を検討しています。

# 早く整備せよ！ 防災情報の伝達手段！

天田町長／最良な情報通信システムを整備する

**難波** 震災後ほぼ全ての情報手段が使えなくなり、対応が急務。  
防災行政無線の設置や24時間対応の音声自動応答サービスの活用、FM放送局の開設、安価な緊急速報エリメールの活用、ま

**町長** システム構築の為に、本年度基本調査を実施して整備し、取り組んでいきます。



親と子どもで作る「あぶないよ！マップ」(阿見小PTA)

# 災害対策の再構築を



難波 千香子 議員

天田町長／危機管理一元化は有効  
青山教育長／危機管理マニュアルの見直しを徹底し防災訓練を実施

**難波** ①災害弱者、障がい児・者の災害時個別支援プランの策定は。

②冷蔵庫保管の緊急救命情報キット導入は。

③災害時業務円滑に危機管理を一元化「被災者支援システム」の導入をすべきでは。

④児童生徒の防災教育連絡システム、引き渡し訓練の見直しを。

⑤地域で支え合う防災力を高める為に地区防災訓練の充実や自主防災組織の強化を。

**町長** ①申請書を送り要援護者台帳を作成し、個別支援に努める。

②現在の情報を今後は消防団にも周知する。

③非常に有効であると考えます。

⑤積極的に参加して戴けるよう取り組みます。

**教育長** ④見直したマニュアルに基づき保護者や消防署の協力で防災訓練します。

# 節電対策と環境負荷削減の 全面的な取り組みを

天田町長／各課に推進担当者、太陽光発電の設置には補助を検討

**難波** 公共施設における節電目標に対する対策。  
太陽光発電設置の一般家庭への助成の導入。

熱遮断フィルム設置  
茨城エコ事業所登録制度の導入はどうか。

**町長** 15%以上削減が、目標。今後、各課の推進担当者で進めます。

太陽光発電の補助は、検討し、導入促進に努めます。

熱遮断フィルム等での節電は、検討課題です。今後も当町独自のエコオフィス活動を充実させます。



太陽光発電システムの設置風景

# 災害応急対策①

## 地域別ハザードマップの作成が必要ではないか

天田町長／地域住民が共有する身近なハザードマップは必要である

**紙井** 自分が住む地域の危険箇所や安全な逃げ道等を熟知する為、住民の意見を

取り入れた地域共有ハザードマップが必要ではないか。

**町長** 地域ごとの総合的ハザードマップは、住民自らが

町を歩き収集した情報を共有できるといふ点が必要と考える。



防災訓練の様子



紙井 和美 議員

## ② 防災訓練を地域別に実施し、即応性ある訓練を

天田町長／的確に行動出来るよう、訓練内容を検討する

**紙井** 小学校区ごと

に、指定された避難所を拠点として実施し、実技の他、図上型訓練（※注）を取り入れ有事に的確に行動できる術を身につけるべきではないか。

えている。

（※注）図上型訓練とは

地図を用いて大災害を想定し、地域で危険が予測される地帯または事態をシートの上に書き込んでいく訓練。事前に危険を予測でき、避難経路、避難場所、即応性ある準備の徹底、地域住民や関係機関において如何なる対策や連携が必要か等を参加者の間で共有する訓練。

**町長** 地域住民と町や関係機関との

連携を図りながら、災害発生時に迅速に的確に行動するための図上型訓練も今後必要と考

## ③ 防災担当部署を独立させ、専門職員を配置してはどうか

天田町長／今後の防災計画の見直しに反映させたい

**紙井** 防災の担当部署を町民活動推進課から独立させ、新たに専門知識を有する人を配置しながら、専門部署として稼働させるべきと考えるが如何か。

**町長** 新たな担当部署の設置については、現在、当庁の組織規模ではすぐには難しいが、専門知識を持った人を非常勤特別職として配置する検討をしてみる。

## ④ 消防団への支援について

天田町長／施設・資機材や補償等の充実に図る

**紙井** 有事における消防団の役割は大きい。今後どのように支援し、取り組んでいくのか。

**消防長** 定員までの団員の確保と、拠点施設・資機材・報酬・補償等更なる充実を進めてまいりたい。

# 阿見町地域防災計画の 基本理念「公助」を どのように考えているのか

天田町長／避難所の開設と食料備蓄・復興支援がある



川畑 秀慈 議員

**川畑** 地域防災計画の目的をどのように考えているのか。

**川畑** 原発事故をどのように考えているのか。

**町長** 一つ目は災害から住民の生命

**町長** 県の防災計画

身体及び財産の保護。二つ目は災害による被害の軽減と社会秩序の維持と公共の福祉の確保です。

の原子力災害対策の対象地域となっていないことから町の防災計画には記載はしていない。今回の事故を見据え県と協議しながら防災計画の見直しを進めていきたい。

**川畑** 大震災から何かしていいのか。

**川畑** この度の地震

**町長** 初動体制、町民への情報提供など問題があったので検証しながら防災計画の見直しを行っていく。

災の対応は、国も自治体も対応のまさ目立つ。阿見町の地域防災計画を見て、応急対応計画が約7割を占め、予防対策・

復旧復興対策が具体的ではない。これは、国も県も日本全体がそうだ。なぜそうなったのか。それは、阪神淡路大震災で多くの人が救出されたが、その8割は、地域住民が救出した。そこから、自助・供助が大きく前面に出て、公助である国と自治体の役割があまり議論されなかった。住民の命と財産を守るといつても災害を最小限に抑える予防対策がきちんとなされなければ国、自治体の義務を果たすことはできない。そこで、今回の大震災を受け地域防災計画

の見直しがされると思うが次の点を考慮し計画の見直しをしていただきたい。

## 自治体防災の方向性について（提案・抜粋）

- (1) 安全性を基本にとらえた土地利用計画の推進。
- (2) 地域防災計画の抜本的な見直し
  - ・ 地震規模・降雨量・大量危険物施設の原因を設定し被害想定する
  - ・ 科学的調査に基づくハザードマップの作成と公表
- (3) 地域社会におけるコミュニティを基礎とした対策の推進
  - ・ 町と地域組織による総合的な地区防災計画の作成
- (4) 重点対策（住民と生命財産に直結する対策）の推進強化
  - ・ 住宅の耐震化促進対策と公共施設の耐震化対策
  - ・ 低地・軟弱地盤地の耐震化対策
- (5) その他
  - ・ 対抗支援について検討する必要がある
  - ・ 応急対策の位置づけ（重要性和限界）
  - ・ 市街地避難対策についての正しい認識のあり方



東日本大震災（宮城県名取市）

# 公共施設等の植栽の維持・ 管理は怎么样了っているのか

天田町長／「植栽管理マニュアル」で維持・管理を検討



久保谷 充 議員

## 久保谷

荒川沖寺子線の延伸の植栽、阿見・吉原工業団地にあるアウトレット周辺の南地区、西地区や、その他の公園・道路の開発・整備によって、植栽の維持・管理費が増大していくのではないかと思います。

荒川沖寺子線、草刈業務が6千333万円、合計で1億2千942万円です。

## 久保谷

植栽を増やすのはいいが、増やせば増やすほど、維持に予算がかかると思うが、どうか。

## 町長

新たな道路や公園の整備に伴い樹木が増加する中で、安全性の確保や、緑豊かで良好な都市景観を維持していくため

## 久保谷

高木に関しては、業者に依頼するしかないが、草刈などの作業は、別な方法で、維持・管理できないのか。

## 町長

道路植栽は良好な市街地を形成するうえで、重要な施設であります。維持管理が大変であることも事実です。

## 久保谷

町全体の植栽のあり方について、植栽アドバイザーなどから、アドバイスを受けてみてはどうか。

## 町長

今年度から機構改革により、都市施設管理課で行う様になりました。委託する管理業務の内容等を考慮し、民間業者に委託するだけでなく、里親制度の活用や町シルバー人材センターへの委託なども含め、植栽の管理の適正化と経費の削減に向けた管理方法を積極的に検討します。

## 町長

平成20年度の実績としましては、植栽管理が6千263万円、草刈業務が6千381万円、合計で1億2千644万円です。

平成21年度は、植栽管理が6千609万

円、草刈業務が6千333万円、合計で1億2千942万円です。平成22年度の決算見込みでは、植栽管理が6千628万円、草刈業務が6千838万円、合計で1億3千466万円です。また、本年度の予算額では、植栽管理が6千782万円、草刈業務が7千153万円、合計で1億3千935万円です。



県立医療大学前の桜並木と雑草

# 総務常任委員会

## 当委員会に付託された案件の主な質疑

**問** 「企画事務費の調査委託料」の内容は。

**答** 道の駅の調査委託の関連です。道路交通調査の資料が、アウトレット開業時の平成21年の7月9日から3日間で、アウトレットが開業した時点での交通量調査のため、実態とそぐわない面がある。そこで改めて緊急雇用創出事業で100%県の補助金で、再度、町内の10箇所の、10地点の交通量の調査と、アンケート調査をするためです。アンケートは、予科練平和記念館の来館者・アウトレットの来客者・臨時観光物産館に来る来客者、その3箇所で利用動向調査も含めて行っていく。

**問** アンケート調査はヒアリングでどのようにやるのか。

**答** 用紙に○を付けてもらう。その内容は、居住地・来訪手段・何できたのか。自家用車なのか他の交通機関なのか、あるいはその最終目的地はどこなのか。また、阿見町の観光に求めるものは何か。フリーハンドの部分にあると思うが、サンプルを1千800程度集めようと考えています。

**問** 町名変更のときの一丁目、二丁目、三丁目のつけかたに決まりがあるのか。

**答** 基本的には北側の西側。区域の左上のほうから東側のほうに向かって番号をふるというのがひとつの基本的考え方です。



6月25日にオープンした臨時観光物産館（まいあみマルシェ広場）



臨時観光物産館の販売の様子

# 民生教育常任委員会

## 当委員会に付託された案件の主な質疑

**問** 阿見町保育所設置運営法人選考委員会の設置についての説明を。

**答** 今回、荒川本郷地区に民間の保育所を誘致するにあたって、より公正で適正な選考をする為、外部からの人材を入れた中で、このような委員会を設置し諮ってまいりたい。

**問** この委員会は、どのようなメンバー構成か。

**答** 大学の保育関係の教授・公認会計士・主任児童員の代表・民生部長・企画財政課長・町立保育所長の代表など7名の構成メンバーを考えています。

**問** スクールライフサポーター活用調査研究委託金とは何か。

**答** 本郷小学校に、スクールライフサポーターが県から派遣されています。その委託金で子どもの悩みを聞いてくれる女性サポーターが1名います。

**問** 学力向上サポートプラン事業の内容は。

**答** 2年前から実施され、全小学校4年生を対象として、夏休み中5日間、算数を中心として勉強を教えるという茨城県の事業です。

**問** 給食センター整備事業について、PFI方式がよいという説明

を受けて、PFIを進めていたが、今回、公設民営方式で、給食センターを整備することに変更したのは、どのような理由からか。

**答** 17年という長い年月を一つの民間企業の経営母体では、食に対して非常に難しいのではないかと。人口も減っていき状況の中では、やはり民間は、利益が出なければ運営するのは、なかなか難しい。

そうすると損の部分では行政の方に負担が大きいと思っているし、学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達が一番の目的で、学校教育の一環だと思っているので、そういう意味では、公設民営の方がベストだと思っている。

ここで、反対討論あり、▼議会が納得したものを拙速に変更した工事

方式。それに既に3年間で3千万近くの業務委託料を支払っている。この委託料をどうするのか。いいといったものを急に方針を変える対応に問題あり。

ここで、賛成討論あり、▼今の給食センターは、老朽化に加え、震災による被害も大きく出ております。

イギリスのPFI方式の仕組みを取り入れたが理解不足もあり、問題も出てきているという事もわかった。公設民営の中で早急に取り組み子どもたちの口に、安心な食物が必要であると思うので、賛成。

ここで、反対討論あり、▼一度造つたら30年、40年使うことを考えればもつといるんな議論があつてもいい。一度白紙にして本当にいい

のは何かを話し合う時間が必要だと思おうので、反対。

討論を終結し採決に入り、平成23年度阿見町

一般会計補正予算内民生教育常任委員会所管事項については、賛成少数により原案は否決されました。



補修して使用している食器洗浄機



腐食した施設内の柱

# 産業建設常任委員会

## 当委員会に付託された案件の主な質疑

**問** 集会施設整備事業、計300万円で直した地域名、所在地は。

また、これは出てきたものに対して全て補助金を出しているのか。

**答** 集会施設の修理事業補助金です。集会施設、公会堂等の本体に修理を要する場合に補助金を出しているもので、今回、レイクサイドタウンの集会施設の一部にひびが入っているということで修繕を要するという事です。例年、十数地区で修繕等があります。基本的には、全ての地区で申請があがってきている分については、当初予算で足りない部分について補正予算で計

上させていたでいて対応している状況です。

**問** 修理事業補助金は、最高限度100万円だといっていました。が、今度の地震で基礎が下がって、サッシが口開いて、床が浮いている状況の場合は、どこに該当するのかわかりたい。

**答** 集会施設の修理事業ですが、10万円以上の修繕費に対して2分の1以内で限度額100万円ということですが。集会施設の修理、サッシですとか、いろいろそういったことを事前に相談いただいているところですが、修繕の方で該当すると思われま

**問** 100万円を超えた場合には。

**答** 限度額が100万円、2分の1なので、見積もりで200万円の見積もりがあれば、100万円までは限度額で補助できるといふことになります。

**問** 資本的支出、配水施設拡張費9千100万円というのは、追原浄水場の施設、発電機設置及び電機機能増設工事の内容は。

**答** 補正の9千100万円は、追原の地下水くみ上げ井戸2本に自家発電機をつける工事です。今回の災害のような停電時も地下水のくみ上げが出来るようになります。

**問** 現在の水道事業の進捗状況を説明してく

ださい。

**答** 22年度から2期5ヶ年計画で、調整区域が今、ほとんど入っていない状況です。で、その調整区域に基幹となる管をもっていこうと昨年度は下本郷地内を行い、今年度は上本郷地内を行い、完了する予定です。それと、追原配水場から大室に入っている管になくルートは23年度から工事を行っております。



筑波南第一工業団地浄水場

## 議会日誌

### 4月

- 5日 全員協議会（（仮称）調査委員会の報告について）
- 8日 議会だより編集委員会（128号編集）
- 22日 全員協議会（東日本大震災に関する現状報告について他）

### 6月

- 6日 全員協議会（東日本大震災に関する現状報告について他）
- 7日 議会運営委員会（第2回定例会期日程について）
- 14日 平成23年第2回定例会第1日目（開会、上程、質疑他）
- 14日 全員協議会（阿見町道の駅構想について他）
- 15日 平成23年第2回定例会第2日目（一般質問6名）

- 16日 平成23年第2回定例会第3日目（一般質問4名）
- 17日 平成23年第2回定例会総務常任委員会（議案審査）
- 17日 平成23年第2回定例会民生教育常任委員会（議案審査）
- 20日 平成23年第2回定例会産業建設常任委員会（議案審査）
- 24日 平成23年第2回定例会第4日目（委員長報告、採決、閉会）
- 29日 議会だより編集委員会（129号編集）

### 7月

- 6日 議会だより編集委員会（129号編集）



平成23年第2回定例会第4日目（6月24日）

## 傍聴してみませんか！

### 手続きは簡単です！

議会の傍聴を希望される方は、会議の当日に役場3階議会事務局で受付けています。

- ①傍聴券の交付を受けてください。
- ②傍聴券は先着順にお渡しします。
- ③傍聴席は、本会議 30席  
常任委員会 9席

### 次回定例会開会予定は

**9月13日（火）** となります。

第2回定例会（6月）の傍聴者は、延べ44名でした。

また、役場1階ロビーでも本会議の実況をテレビでご覧になることができます。



委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	編集委員
川畑	久保谷	難波千香子	浅野	紙井	平岡	細田	
秀慈	充		栄子	和美	博	正幸	

皆様のご意見ご要望をお待ちしております。

紙井 記

### 編集後記

本格的な夏の訪れとともに、例年以上に熱中症の被害が懸念されます。被災地の復興支援も政府の対応はあまりにも遅く、早急な取り組みを強く願うところがあります。

一人一人が幸せに暮らしていける社会の構築は、政治の責務であります。阿見町議会では、議会改革を目指し、議会の透明化を図り、ありのままの議会活動をお届けしてまいります。